

2023 年度 School Rose Garden Project

取組内容とその成果

【取組①】 地域との交流

日吉台小学校では、昨年度、4年生が「日吉台クラブ」「愛柿会」の2団体と中部ブロック育苗担当の方にバラの剪定方法や植栽を指導していただいた。また、2団体には1年を通して協力していただき、バラの学習を進めた。

まず、児童がバラについての興味をもつきっかけ作りとして、各団体のバラ園を見学した。児童は、バラの名前に「福山」がついているものがあること、さまざまな種類のバラがあり、育ち方や色、においは千差万別であることなどを知ることができた。

秋には、本校に来校していただき、バラ園で剪定する枝の選別方法や剪定ばさみの使い方等を教えていただいた。児童は、バラの世話に対する関心をより高める良い機会となった。



【取組②】 ゲストティーチャーの活用

福山市が「バラ 100 万本のまち」となるきっかけとなった福山大空襲について調べ学習を進める中で、「実際に空襲を経験した方の話を聞いてみたい。」「どのような思いでバラを植え始めたのか、実際に質問してみたい。」という児童の思いが出てきた。そこで、日吉台交流館に相談し、枝広さんを紹介していただいた。

枝広さんには、福山空襲の時、実際に見たことや感じたこと等を話していただいた。また、戦中、戦後の生活についても話していただき、児童は、バラが福山市民の心を潤す存在であったことに気付くことができた。

書籍やインターネットを使った調べ学習では得られない、貴重な学びの場となった。



【取組③】バラ園の充実

バラ園を整備したり、様々な品種について調べたりする中で、児童の中から「バラの品種や特徴をみんなに伝えたい。」という声が出てきた。

そこでまず、バラの品種を知らせる看板作りを行った。児童は、文字の色をバラの花びらの色とリンクさせたり、文字の大きさを工夫したりして作製した。

次に、バラの特徴を伝えようと考えたが、屋外に設置することが難しいと考えた。そこで、QRコードを使ってバラの特徴を発信しようと考えた。QRコードは校内に掲示し、他学年の児童や保護者等様々な方に本校のバラについて知らせることができた。



ダブルデライト



ピエール・ドゥ・ロンサール

名前 ダブルデライト



原産地 アメリカ
いつできたか 1945年
名前の由来 アメリカのテキサス州の作家
香り 強く甘い香り
花言葉 二重の喜び

特徴 ・トゲが多い
・葉が少し固いので病害に注意が必要

名前 ピエール・ドゥ・ロンサール



原産地 フランス
いつできたか 1945年
名前の由来 フランス・ルネサンス調を代表する作家ピエール・ドゥ・ロンサールにちなんで名付けられた。
香り ほとんどない
花言葉 愛を望みます

特徴 ・蕾はピンク色で中心にいくほどピンクが濃くなります。
・つるばつのつなぎになる。
・株を剪定すればよく繰り返し開花します。